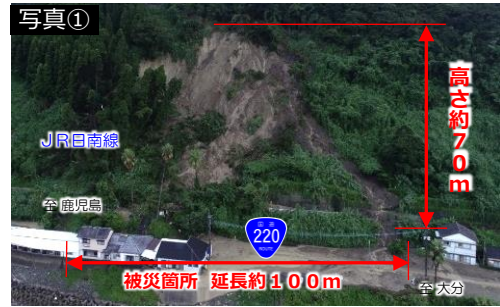
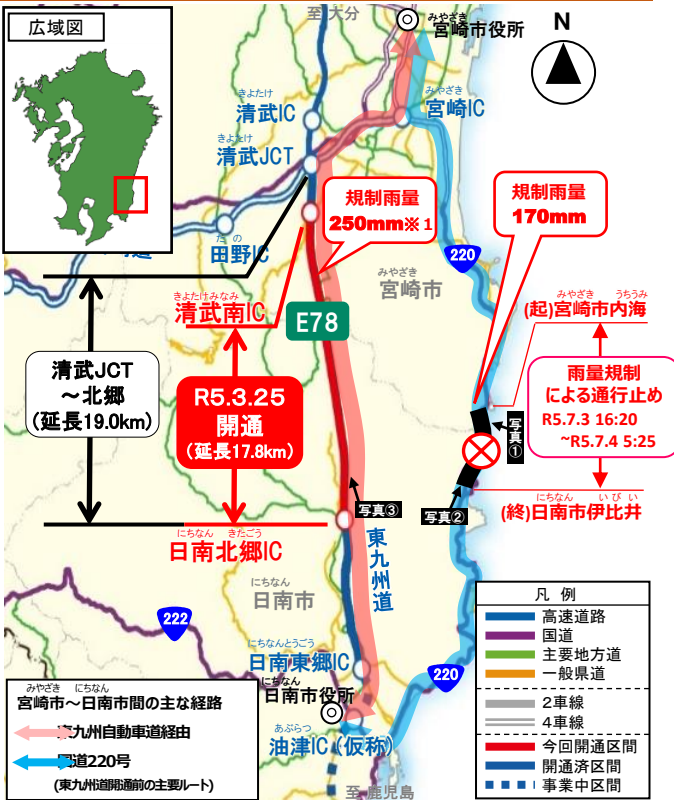


# 高規格道路の整備により災害に強い国土幹線道路ネットワークを構築する(宮崎県宮崎市～日南市)

国土交通省 九州地方整備局  
事業者：宮崎河川国道事務所



▲写真① 国道220号の被災状況(R3.9)



▲写真② 国道220号における規制(伊比井地区)(R5.7.3～4)

規制回数(累計)	79回
規制時間(累計)	計2,102時間 日換算約88日
規制理由	斜面崩壊、落石等

▲国道220号における規制発生状況※2

## 対策名：51 高規格道路のミッシングリンク解消及び4車線化、高規格道路と直轄国道とのダブルネットワーク化等による道路ネットワークの機能強化対策

主たる施策グループ：5-5) 太平洋ベルト地帯の幹線道路や新幹線が分断するなど、基幹的陸海上航空交通ネットワークの機能停止による物流・人流への甚大な影響

## 事業名：道路整備事業東九州自動車道 清武JCT～北郷

- ポイント**
- 度々通行止めが発生していた国道に、並行する高速道路を整備
  - ミッシングリンク解消、代替機能の確保により、災害に強い国土幹線道路ネットワークを構築

### 地域の概要・課題

東九州自動車道に並行する国道220号には異常気象時の事前通行規制区間が存在し、過去に災害や事故による長時間の通行止めが発生していました。

令和3年9月には、内海地区にて大規模な法面崩壊が発生し、約1か月の全面通行止めが発生しました。

### 事業の概要

九州東部の広域的な連携や、物流の効率化及び地域の発展、災害に強い道路ネットワークの構築等のため、高速道路ネットワークの未開通区間である東九州自動車道 清武JCT～日南北郷IC間(延長19.0km)の整備を実施しました。

### 効果

令和5年梅雨期の大雨において、日南市伊比井地区では、規制基準(170mm)を超える連続雨量194mmを記録し、国道220号は約13時間の全面通行止めを行いました。令和5年3月25日に開通した東九州自動車道 清武南IC～日南北郷IC間が迂回路となり、代替機能を発揮しました。



▲写真③ 東九州道 清武南IC～日南北郷IC間 開通時の状況(R5.3)

※1 清武南IC～日南東郷IC間の規制基準：連続雨量250mmもしくは、連続雨量150mmかつ時間雨量50mm  
※2 東九州自動車道(清武南IC～日南東郷IC)に並行する国道220号を対象  
※2 通行規制はH20～R4の15年間の実績

1 激甚化する風水害や切迫する大規模地震等への対策  
(1) 人命・財産の被害を防止するための対策

(2) 交通ネットワーク・ライフラインを維持し、国民経済・生活を支えるための対策

2 予防保全型インフラメンテナンス  
への転換に向けた老朽化対策

3 国土強靱化に関する施策を効率的に進めるためのデジタル化等の推進  
デジタル化に関する施策の

(2) 伝達の高精度化  
災害関連情報の予測、収集・集積